

エキシマレーザー治療的角膜切除術の手術成績のレトロスペクティブ調査

1. 研究の対象

2005年1月～2026年7月に当院および南青山アイクリニックでエキシマレーザー治療的角膜切除術（phototherapeutic keratectomy = PTK）を受けられた方。

2. 研究目的・方法

角膜混濁に対する PTK はすでに確立した治療法として、保険収載もされている。しかし、PTK 後、5 年～10 年といった超長期の評価はほとんどされていない。本研究の目的は、角膜混濁に対する PTK の超長期の効果と安全性を検討する事である。

研究方法は、カルテを後方視的に調査することで行う。

研究期間は本研究が井上眼科病院倫理審査委員に承認された日から2029年7月までを予定している。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ番号、年齢、性別、手術前と術後1年、5年、10年における、視力、屈折、角膜混濁などの検査結果を対象とする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先担当者および研究責任者：

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4 - 3

電話：03-3295-0911（月曜日～土曜日 9：00～16：00）

研究責任者：お茶の水・井上眼科クリニック 院長 天野史郎

共同研究者：南青山アイクリニック 院長 戸田郁子

-----以上